

テスト1の1

名古屋 東海中学校 (平成28年度)

一、次の――部のカタカナを漢字に直しなさい。⑤⑥は送りがなをふくめて書きなさい。

- ① イッシ|乱れず整然と行動する。
- ② 夕食にシ|ヨウタイする。
- ④ 得られたチ|ケンを役立てる。
- ⑤ つらい労働をシ|イラレタ。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

＊本田と共にスクールを運営する鈴木良介＊GM（ジェネラル・マネージャ）は、静岡学園高校時代に全国高校サッカー選手権大会でベスト8、卒業後は、東京農業大学に進学した。プロになる夢を持っていたが、大学2年時に腰を痛め、指導者の道を選んだ。

「怪我でボールが蹴れなくなつて、チームのために何ができるかを考えた時に、チームメイトのデーピングや、コーチの仕事が思い浮かびました。実際にやりながら、自分は大人に勝つサッカーを教えるより、子供たちと付き合つていくほうが向いているんじゃないかと感じたんです。自分の思いや、やつて来たこと、サッカーが好きな気持ちを伝えていけたらと。」

①中学生や高校生つて、ある程度サッカーへの思いが決まっていますよね。止める子は止める。やる子は次の＊カテゴリーへ行く。努力し続けるかどうかを自分で決めるじゃないですか。でも小学生つて、まだその道をいくらでも変えることができます。②僕は、ウサギと亀なら亀の子を見たいんですよ」

小学生の頃にレギュラーと非レギュラーを分けてしまうと、試合に出られない子供はサッカーを諦めてしまうケースが多々見受けられる。それでも、子供たちの未来には可能性がある。ちよつとしたコーチのアドバイスや接し方でガラツと変わり、大きく成長する。今の時点では、あまり活躍できていない「亀」の子を育ててみたい。それが、鈴木のコーチとしての原点だ。

「僕はたまたま運動神経が良かったので、サッカーを始めた小学4年から常にレギュラーで試合に出られました。だから、『亀』の子たちの気持ちが分からなかったんです。でも、③自分がプロになれなかった理由は、サッカーを知らなかったからなんです。サッカー処の静岡で育ち、長く続けて来たというのに、サッカーをしっかりと教えてもらえなかった。今、顧みれば、ゴールを奪うまでのプロセスを作れずに、(a)その場凌ぎのプレーばかりしていた。怪我もありましたけれど、当時は高校からプロが当たり前で、僕の中では、大学はプロ挫折組のイメージだったんです。」

逆に言えば、運動神経のいい子がサッカーを知ればものすごい選手になれるかもしれない。サッカーを知っているつて非常に大きいんですよ。だから、小学生がサッカーを好きになること、何故サッカーが好きなかを自分で理解できるように理論を明確に伝えることで、今は運動神経の低い子でもある程度高いレベルでサッカーがやれるようになります。自分のモチベーションを高めることもできる。僕との出会いをきっかけに、サッカーを続けてくれる子が一人でも多く出ればなと」

鈴木は大学在学中から、東京都のクラブチームやサッカースクールで、コーチとして小学生と付き合うようになった。やがて地域の選抜チームの指導者となる。「いいモノを持つているのに＊フィジカルが弱い、体が小さい、足が遅いから選抜ないということ、僕はしませんでした。足が遅いなら、彼の良さを引き出すためにどうやって教えるかを考えればいい。小さい子なら、相手に触らせなければ倒されない。そういう指導をすることで、彼らの生きる場を見付けてあげたいと思うんですよ。将来性はあるのに、今は使えないからという理由で落としてしまうのか。選拔選手になることで自身の気付きがあったり、羽ばたいていく子もいっぱいいるんですよ。選ぶということでも、④しつかり子供たちのために伝えられること、目的を見失わないようにさせることが大事だと考えています」

大学卒業後もコーチとして⑤【A】を立てていた鈴木と本田圭佑との出会いは2010年のことだ。

「南アフリカワールドカップが終わつて本田選手が帰国した時、彼の練習に僕も居合わせたんです。日本代表合宿まで2、3日、時間がある。しつかりトレーニングしたい。試合をやりたいので人を集めてくれ、と本田選手が希望を出した。集まったメンバーの一人として僕も加わり、一緒にやったのが縁です。その後、

2010年の12月に宮崎県と石川県で本田選手がサッカークリニックを催した際には、スタッフとして声を掛けてもらいました。以後、毎年同様のイベントを日本全国や上海で開催し、本田選手自身が『こういう活動が続けていきたい』と、＊SOLTILOを作ることになりました。

でも、直ぐに実現したわけじゃないんです。サッカースクールを＊マネージメントしたり、指導だけでなく、運営、人材やコーチたちの指導もしなければならぬですよ。なので、マネージメントを学ぶために＊ベンチャー企業に入つて勉強をしたり、イングランドにコーチ＊ライセンスを取りに行つたりと準備しました。1年半くらいを経て、2012年5月に最初のスクールを立ち上げたんです」

サッカーの指導者であるなら、当然の如く世界の強豪国の育成が気になる。鈴木はイングランドとスペインで学ぶことにした。

「自分の目でちゃんと確かめたかったんです。海外の現場で子供たちと触れ合うことによって、日本の子供に＊フイードバックできることが沢山あるんじゃないかと感じました。日本は、根性論【B】のサッカーが主流だったりしますよね。それで、子供たちに罵声を浴びせて判断や自主性を奪ってしまったたりすることが多いじゃないですか。子供を育てているとは言い難く、子供たちがコーチの顔色を窺いながら試合をやつたりします。ヨーロッパでは、まず指導者が子供をリスpektします。⑥そこが驚きでした。イングランドの前はスペインでも学んだんですが、子供たちが非常に自主性を持っているんですよ。」

『〇〇の練習をやる』つて言うのと、向こうの子つて必ず⑦『どうしてそういう練習やるの?』つて質問します。日本の子は、直ぐに並んで言われたことをやるじゃないですか。それが当たり前ですよ。ヨーロッパの子は『その練習は、本当に自分のためになるのか?』みたいに疑問をぶつけて来ます。だから、コーチも中途半端なメニューは考えられない。コミュニケーション能力や【C】の部分で、子供たちの差を感じました。僕が育つた環境や、指導者になつて付き合つて来た子とはまったく違います。もちろん、指導者の質もあると思います。地域にサッカーが根付いていてトップリーグの試合を見られるとか、家庭での会話でも、親御さんがしつかりサッカーを知っていると。文化ありきのなかで子供たちが育っているの、子供の目も厳しいというか、サッカーを知っているんです。日本の子たちよりも(b)成熟している印象を受けました」

スペインに4週間滞在し、その後訪れたイングランドで、鈴木はコーチライセンスを取得する。

「イングランドに行つて最初に言われたのが『子供たちをリスpektしていますか?』という言葉でした。日本では聞かれない、というか無い言葉だと感じましたね。子供たちをリスpektしている指導者がどれだけのの? と深く考えさせられ、意識するようになったんです。」

また、基本的に子供たち全員に、沢山ボールを触らせることを実践していました。子供は大人が知らない発想を持っていてアイデアの塊だから、それを大人が奪つてはいけない、と叩き込まれた気がします。大人が⑧下手だと決め付けて試合に出さないのは、子供たちのアイデアを尊重していいことになるわけです。」

(林壮一の文章による)

テスト1の2

名古屋 東海中学校 (平成28年度)

注 *本田 本田圭佑。ヨーロッパのクラブチームや日本代表として活躍するサッカー選手。

*GM 組織における総責任者。

*カテゴリー 分類・分野。

*フィジカル 肉体的・物理的な強さ。

*SOLITIRO SOLITIRO FAMILIA SOCCER SCHOOL の略。

本田圭佑が次世代育成のために開校したサッカースクール。現在日本各地に約五十校ある。

*マネージメント 経営すること。

*ベンチャー企業 独自の技術や製品で急成長していく企業。

*ライセンス 免許。

*フィードバック 反応や結果の情報を関係者に伝えること。

問1 ①「中学生や高校生って、ある程度サッカーへの思いが決まっていますよね」とあるが、これはどのようなことを言っているのか。その説明として最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

ア、コーチにたよって練習への関わり方が固定化しつつあるということ。

イ、自分の考えを優先してコーチに反発するようになっていくということ。

ウ、ルールに沿ったプレーを好んで無茶をしなくなっているということ。

エ、自分にとってサッカーをする意義がはつきりしてきているということ。

オ、基礎練習を軽く見て自己流にプレーするようになっていくということ。
問2 ②「僕は、ウサギと亀なら亀の子を見たいんですよ」とあるが、どのような姿が見たいのか。本文中の語句を利用して四十字以内で答えなさい。

問3 ③「自分がプロになれなかった理由は、サッカーを知らなかったから」とあるが、どういうことか。その説明として最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

ア、高校からプロになるのが当たり前であり、大学でプレーすることを考えていなかったということ。

イ、サッカーが好きな理由を理解せずに、結果を出すことばかりにこだわっていたということ。

ウ、自分のプレーを気にするあまり、仲間を思いやる大切さに気づいていなかったということ。

エ、レギュラーになった自分に満足してしまい、そうでない仲間たちとの練習に熱心でなかったということ。

オ、プロの世界の厳しさを知らず、自分のサッカー選手としての能力にうぬぼれていたということ。

問4 ④「(a)『その場凌ぎ』(b)『成熟している』の意味として最も適切なものを次の中からそれぞれ選んで記号で答えなさい。

(a)「その場凌ぎ」

ア、後のことを考えずにとりあえず切りぬけること。

イ、その時その時に応じた適切な行動をとること。

ウ、相手につけこまれずに圧倒的な力を発揮すること。

エ、不利な状況にあってもすすんで挑戦すること。

オ、どっちつかずのあいまいな対応に終始すること。

(b)「成熟している」

ア、物事を始める時期として適していること。

イ、成長の早さに周囲が追いつけないでいること。

ウ、人として心身ともに十分に発達していること。

エ、身体的能力が最高潮の状態にあること。

オ、他よりもぬきん出た力を持っていること。

問5 ⑤「しっかり子供たちのために伝えられること、目的を見失わないようにさせることが大事だ」とあるが、そう考える理由を「〜から」にながるように本文中より十五字以内でぬき出して答えなさい。

問6 ⑥「【A】を立てて」とあるが、「くらしに必要となる十分なお金を稼ぐ」という意味になるように、空らんに入る漢字二字を答えなさい。

問7 【B】に入るひらがな三字を本文中よりぬき出して答えなさい。

問8 ⑥「そこが驚きでした」とあるが、どのようなところに驚いたのか。日本とヨーロッパの指導法の違いをふまえて五十字以内で答えなさい。

問9 ⑦「どうしてそういう練習をするのか」とあるが、この質問はどのような意図によるものか。三十字以内で答えなさい。

問10 【C】にあてはまる語として最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

ア、多様性 イ、絶対性 ウ、客観性

エ、公共性 オ、主体性

問11 ⑧「下手だと決め付けて試合に出さない」とあるが、この理由となる部分を本文中より八字でぬき出して答えなさい。

三、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

父親の転勤にともない、家族全員でオーストラリアに住むことになった真人（「ぼく」）は、現地の公立小学校の五年生に転入した。最初は英語が理解できずに苦労した真人だったが、六年生になってようやくなじめるようになってきた。アメリカ人の父とオーストラリア人の母をもつエイダンとは乱暴者で、真人と何度もけんかをしている。

「ランチ、食べないの？」

エイダンは、ランチ忘れた、ってつぶやいた。この前も、先生にそう言ってた。

「母さん、赤ん坊で忙しい。忘れるんだ、おれのランチ」

「赤ん坊？」

「ずっとビービー泣いてる。あんなやつ、妹なんかじゃない。あんなチビ、嫌いだ」

エイダンはフンって【A】を鳴らした。母さんはおれがジャマだから、アメリカの父さんのところへ行かせてたんだ。いつも父さんの悪口ばかり言ってたのにさ、急に、お父さんのところへ遊びに行けとかなんとか。帰ってきたら、あのチビがいた。おれより、新しいボーイフレンドと新しいチビがいいんだ。

ぼくはだまりこんでランチを食べようとした。でも、エイダンは元気なきそうでも、なにを言っているかわからないので、サンドイッチを半分にちぎって、エイダンの目の前に差し出した。①エイダンは、ぼくをじつと見て、あたりをきよるきよる見回すと、ぼくの手からすばやく取って口に放り込んだ。

お母さんの得意のフルーツサンドには、たつぷりの生クリームのなかにフルーツがいっぱいはいったのが挟まってる。エイダンが見たことないような驚いた顔をして口をもぐもぐ動かした。だんだん驚いた顔は、眉が下がって、鼻の穴が膨らんで、上のくちびるも下のくちびるも上向きに丸くなって、ほっぺたがピンポン球みたいにポコポコ踊る嬉しそうな顔にかわった。いつもまわりの人と空気をにらみつけるようにして歩いているエイダンしか知らなかったから、ぼくはちよっとびつくりだった。おまえの母さんが作ったのか？ って、こっちが聞いたことないような不思議そうな、照れくさそうな声を出すから、そうだよって、②ますます膨らんでいくびつくりをひた隠しにして、なるべくふつうに答えた。おまえんち、スシばかり食べてるんだと思ってた、おまえの母さん、マジ料理うまいんだな、いいなあ、って最後のところを口に押し込んだ。小指についていたクリームまで舌で念入りになめた。「いいなあ」っていう最後のところの声がものすごく甘えていて、それを聞いたとたん、③ぼくはそれ以上食べられなくなつて、手にしていた残りの半分も、口を動かしながらそれをじつと見ていたエイダンにあげた。

(中略)

翌日のランチタイム、エイダンは売店でキンヌードルをオーダーしていた。ぼくも食べたことがあるけど、あんなにまずいキンヌードル、食べたことがない。ぼくと*ターミナがランチを食べているところへ、キンヌードルを両手で持ったエイダンがやってきた。おまえら、つきあってんのか、ってぼくらをからかう。エイダンの言葉にひっかかって、頭にきて、トラブルになるっていうのはもう何回も経験済みだから、ぼくは相手にしなかった。

ランチを食べ終えて、校庭で*ジェイクやケルヴィンやノアを探そうとしたら、エイダンがやってきた。おもしろいことやろうぜ、って、ぼくを誘う。こいつのおもしろいことは、たいていヤバイからどうしようかと思っただけで、ひとりであのまずいキンヌードルをすすっていた姿がちよっとひっかかっていて、とりあえずついていく。ふたりに男子トイレの便器のぜんぶにトイレットペーパーをありったけつつこんで、水を流す。水があふれ出す。床中水浸しになって、トイレに入ってきた三年生くらいのやつが「げえーっ！」って叫んで、出て行く。エイダンとぼくも逃げる。

ランチタイムがおわるベルが鳴るのと同時に、校長室で怒られる。いつもは、どっちがどっちに先になにしたらって言い合いからはじまるけれど、今日は、男子トイレを水浸しにしたのは君たちかって校長先生にきかれて、ぼくらは、Yes、って同時に答える。④いつもだつたらエイダンはぼくのせいにはばかりするのに。おもしろいことをぼくらは繰り返す。一年生の男の子のランチボックスをぼく

がひったくつて、エイダンが校舎の屋根の上に投げる。一年生が校庭とその上の⑤青空をつんざくような大声で泣いて、見回りの先生が飛んでくる。校長室に呼ばれる。その男の子のお母さんが来ていて、こんな悪い子がいる学校にうちの子を通わせられません、ってすごく怒る。間もなく校長室に呼ばれたばかりのお母さんがすみません、よく言ってます、っていつもどおりあやまる。エイダンのお母さんは来ない。

(中略)

もうエイダンとはぜったいにつきあわないってかたく誓っていたのに、ひとりっきりのあいつ、お母さんにランチを作ってもらえないあいつ、お父さんと離ればなれのあいつ、みんなとクリケットしても、フォーティー・フォーティー・ホームズしても、カードバトルしても、あいつが気になってしかたなかった。

⑥またあいつに「おもしろいことしようぜ」って誘われた。断れなかった。

段ボール箱に子猫を入れる。学校の前に捨てられていて、数日前からみんなで校庭の隅にかくして、エサをあげたり抱っこしたりしている茶色と白のトラネコ。ターミナが毎朝ミルクをあげてる。生き物を大切にしなければなら、地獄に落ちるってお父さんにもお母さんにも、それからおばあちゃんにも言われているらしい。子猫の入った段ボール箱を抱えて、オーチャード・クリークの川辺にぼくらは行く。浅くて小さい川だけど流れがとても急で、「川に入らないで下さい」って書かれた看板が立っている。エイダンが段ボール箱を川面に浮かべる。川の音でもかき消されないくらいの大声で子猫がいないのがきこえる。みるみるうちに、段ボール箱は川の流れにさらわれて、底から水を吸って色が変わっていく。ぼくはぎゅつと目を閉じた。⑦聞こえる。川が「ナーナナーナー！」「ヤーヤーヤーヤー！」って歌ってる。

エイダンが箱に向かって石を投げる。ぼくは、エイダンを突き飛ばして、川に走って入る。服がいつぺんに体にはりついて、鎧みたいに重くなった。腰まで水に浸かったけど足は下についた。流されないようにゆっくり歩いて行って、岩と岩の間にひっかかって、いまにも沈みそうになっている段ボール箱に手をのばす。中にいた子猫を片手でつかんだとき、手の甲に爪を立てられて思わず振り払ってしまふ。水の中にもぐって、目の前でもがいていた子猫を抱きしめる。またひっかかれるけど、こんどは死んでも放さない。子猫もぼくも息がとまりそうになる。やつと水中から上半身をあげて、制服のジャンパーの胸元に子猫を押し込む。子猫がすごい声でなきながら暴れる。ぼくは、子猫が飛び出さないようにジャンパーの上から両手で押さえつけて、川辺まで歩いて行って、砂の上に倒れ込む。秋の終わりの空気がずぶぬれの体に襲いかかってきて、一気に凍えそうになる。

⑧ちえっ！ おもしろかったのに！ こんなチビ、いなくなればいいんだよ！ 死んじやえ！ そう言い捨てながら、エイダンが駆け寄ってきた。ぼくのジャンパーの胸元から頭を出していた子猫に手をのばそうとした。その手を払いのけて、ぼくは体をおこして立ち上がると、エイダンを突き飛ばした。エイダンが砂の上に倒れた。そのとたんにジャンパーの上から押さえつけていた子猫が地面に飛び降りた。ずぶぬれの体を振ると、ぶるぶる震え始めた。そして、一目散に橋のほうをめがけて駆け去った。子猫を【B】で追うと、橋の上から、*ピーターが自転車を下りてこっちにむかってくるのが見えた。エイダンは、濡れた川辺に転がって砂まみれになって、母さん、母さん、ってお母さんと呼んでいた。こいつ、ほんとにアメリカ人みたいなしやべり方する。それ、こっちでは目立ち過ぎなんだよ。

助け起こしたぼくの腕にすがって、エイダンは泣きじゃくった。

(岩城けいの文章による)

注 *ターミナー転入生の少女。

*ジェイクやケルヴィンやノア―真人の仲のよい友だち。

*ピーター―学校の用務員。

テスト1の4

名古屋 東海中学校 (平成28年度)

問1 【A】【B】に入る語をそれぞれ身体の一部を表す漢字一字で答えなさい。

問2 ①「エイダン」は、ぼくをじつと見て、あたりをきよろきよる見回すと、ぼくの手からすばやく取って口に放り込んだ」とあるが、このときのエイダンの気持ちの説明として最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

ア、うっかりランチを忘れたと言ってしまった、サンドイッチを差し出されたことを気恥きはずかしく感じたけれども、誰かに見られていなければ食べてしまってもかまわないだろうと思っっている。

イ、ランチを持ってこれなかった事情を話してしまつて後悔したけれども、せつかくの好意をむだにしてはいけなと考え、人の目を気にしながらも受け取ろうと思っっている。

ウ、予想していなかった「ぼく」からの施ほどこしにとまどつたけれども、目の前に差し出されたサンドイッチの誘惑ゆうわくにかられ、周りに弱みを握にぎられないうちに急いで食べてしまおうと思っっている。

エ、人から親切にしてもらうことに慣れていなかったため、目の前にサンドイッチを差し出されてあせってしまった、とりあえず周りに気づかれないうちに食べてしまおうと思っっている。

オ、差し出されたサンドイッチを受け取ったら、いじきたないやつだと思われるのではないかと気になったけれども、意地を張つて断るのもみつともないから食べてしまおうと思っっている。

問3 ②「ますます膨らんでいくびつくり」について説明した次の文の空らんに入る言葉を、本文中よりそれぞれぬき出して答えなさい。なお(1)と(4)には登場人物が入り、(2)と(3)には八字以内の語句が入る。
(1) ()の(2) ()に加え、(3) ()に、
(4) ()が驚いている。

問4 ③「ぼくはそれ以上食べられなくなつて」とあるが、その理由として最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

ア、ふだんの言動からは想像もつかない、ひどく甘えたエイダンの声を耳にして、料理のうまい母親のいる自分がうらやましがられていることに心を乱されたから。

イ、いつもは強がりと言うエイダンがうらやましそうな言い方をしたのを見て、料理のうまい自分の母親のことを知らず知らずのうちに自慢じまんしていたと気づいたから。

ウ、料理上手な母親がいてスシばかり食べているわけではないことをうらやましがるエイダンの様子は、つとめてふつうにふるまっている自分には無邪むじゃ気に見えてあきれたから。

エ、母親に冷たくされているエイダンは料理上手な母親がいる自分のことをきつとねたましく思っているだろうと考えると、どうしようもできないだけに胸のつまる思いがしたから。

オ、半分にちぎったフルーツサンドをおいしそうにはおぼつたエイダンが小指についていたクリームまで念入りになめたのを見て、自分ももう満腹になつていることを思い出したから。

問5 ④「いつもだったらエイダンはぼくのせいにばかりするの」とあるが、今回「ぼくのせい」にできなかったのは、エイダンの「ぼく」に対する気持ちがどのように変化したからか。「」を感じるようになったから」につながるように答えなさい。

問6 ⑤「青空をつんざくような大声」の「ような」と同じ用法のものを次の中から選んで記号で答えなさい。

ア、見たことないような驚いた顔

イ、人と空気をにらみつけるようにして歩いている

ウ、聞いたことないような不思議そうな

エ、流されないようにゆっくり歩いて行つて

オ、飛び出さないようにジャンパーの上から両手で押さえつけて

問7 ⑥「またあいつに『おもしろいことしようぜ』って誘われた。断れなかった」とあるが、このとき「ぼく」はエイダンのことをどのように思っているか。エイダンの置かれている境遇ききうをふまえて具体的に五十文字以

内で説明しなさい。

問8 ⑦「聞こえる。川が『ナーナナナーナー!』『ヤーヤーヤー!』って歌つてる」とあるが、このように聞こえるのは、現地の学校に転入したころの「ぼく」が、エイダンやクラスの人々から「スシ! スシ! スシ!」「ナーナナナーナー!」「ヤーヤーヤー!」というメロディーでからかわれ、必死にあらがいつつもひどく傷ついたことによる。⑦が表していることを「子猫」の様子をふまえて八十字〜百字で説明しなさい。

問9 ⑧「ちえっ! おもしろかったのに! こんなチビ、いなくなればいいんだよ! 死んじゃえ!」とあるが、このように言うエイダンにとつて「こんなチビ」は、(1)何を示しているか。また、(2)どのような存在か。具体的に答えなさい。

問10 本文の内容と表現についての説明として適切でないものを次の中から二つ選んで記号で答えなさい。

ア、「ほつぺたがピンポン球みたいにポコポコ踊る」「服がいつぺんに体にはりついて鎧よろいみたいになくなった」に見られるたとえが、登場人物の表情や様子を生き生きと伝えている。

イ、エイダンの言う「おもしろいこと」は「ぼく」にとつて迷惑めいわくこの上ないことだったが、ランチをあげたときの嬉しそうなエイダンの顔を思い出すと、つきあわずにはいられなかった。

ウ、「おもしろいこと」を繰り返すエイダンと「ぼく」にとつて、校長室に呼ばれることは慣れっこになつていて、怒られてもまったく気にならなくなつていた。

エ、実際に登場人物が口にした会話部分には「」を使い、話し手である主人公が心のなかで思つたり考えたりした部分には使わないことにより、ストーリー展開にメリハリをつけている。

オ、みんなからエサをもらつたり抱っこしたりされたりしている子猫のことを目障めざわりに思つたエイダンは、子猫を段ボール箱に入れて川に流し、目の前から消してしまおうと考えた。

カ、救い出した子猫に、駆け寄つてきたエイダンが手をのばそうとしたので思わず「ぼく」が突き飛ばしたところ、意外なことに驚いたエイダンは川辺に転がつて泣き出してしまった。

解答らん

(字数制限のある問題は、特に指示がない限り、文字以外の記号もすべて字数に入れること。)

[illegible]

⑤	③	①
⑥	④	②

[illegible]
